

## 令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	地方バス路線運行維持費補助金（九大線以外）		
担当所属	地域振興課	連絡先	092-332-2062

## 【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当規程	糸島市地方バス路線運行維持費補助金交付規程		
基本目標	基本目標4 快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり		
	政策	政策3 交通環境の整備充実	
	施策	施策⑥ 便利で効率的、安全・安心な公共交通の充実を図る	
補助期間	令和2年度	まで	

## 【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】</p> <p>乗合バス事業者の市内バス路線（九大線以外）の運行維持に要する経費を補助することで、市域内の生活交通路線として必要なバス路線の運行を確保し、市民の生活交通手段の確保や交通不便地域の縮減等を図る。なお、市では「糸島市地域公共交通網形成計画」の事業計画に基づき、市内のバス交通を整備充実することとしている。</p> <p>【対象事業】</p> <p>生活交通路線として必要なバス路線の運行を確保するための乗合バス事業</p> <p>【対象者】</p> <p>乗合バス事業者</p>	<p>① バス利用者数（令和2年度）</p>

## 【改革案】

今後の実施方向性	やり方改善
地域公共交通網形成計画の事業計画に基づき、市内のバス交通を整備充実することにより、市民の生活交通手段の確保や交通不便地域の縮減等を実現することができる。	

## 【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 人	289,330	302,000

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	64,233,000	79,551,000

## 【環境変化等】

<p><b>開始時の周辺環境・課題</b></p> <p>バスの利用者数は横ばいまたは微増傾向であり、路線の見直しなどによる運行の効率化や利用者数増加による運賃収入の確保により路線を維持していく必要がある。</p>
<p><b>現状の周辺環境・課題</b></p> <p>200円定額運賃制度の導入により、バス利用者数は右肩上がりで増加し、それに伴い、運賃収入も増加していたが、31年度は利用者等が減少に転じた。収支率も低下し、赤字額の縮減にはいたっていない。また、国庫補助金の額が毎年漸減してきており、市の負担が大きくなっている。さらに高齢者の自動車事故の懸念から運転免許証自主返納の動きが進み、バス交通網に対する期待が高まっている。</p>
<p><b>今後の予想される周辺環境・課題</b></p> <p>高齢化の進展により運転免許証の自主返納者の増加などバスを必要とする市民の絶対数は増加すると想定される。また、国庫補助金はさらに引き下げられる恐れがあるため、利用者ニーズを踏まえ、効率の良い公共交通網の構築が必要である。</p>
<p><b>市民及び議会等の意向・ニーズの変化等</b></p> <p>分かりやすく利用しやすい公共交通網の構築を望む意向がある。</p>